バリューチェーンの整備を通じた農村振興(畜産物の付加価値値向上)

Rural Development through creating Agricultural Value Chain (Value addition to Livestock Products)

更新

対象国の条件：	
研修コース番号：	201984841-J002
案件番号：	201984841
主分野課題：	農業開発/流通・加工・輸出振興
副分野課題：	
使用言語：	英語

案件概要

途上国の農業生産者は、技術面の課題に加え、脆弱な加工・流通システムがあり各段階での相互連携が不十分なため、低収益で非効率な市場での販売に依存せざるを得ない。本研修は、フードバリューチェーン戦略の視点に立ち、生産者による加工・流通を踏まえた高付加価値化を推進する農村振興計画づくりを支援する。腐敗リスクが高い牛乳を扱う「ミルクチェーン」のケーススタディを中心に、畜産物全般に応用性の高い知見を提供する。

目標／成果

【案件目標】
畜産業を担う機関において、畜産物のバリューチェーンの整備/改善を通じた持続可能な農村振興への計画が立案される。

【成果】
1. 国際情勢や各国における現状を把握し、分析手法を用いて問題を同定、分析し、解決への道筋を立てる。
2. 酪農と関連する農畜産業を例に、バリューチェーンの機能、構造を説明できる。
3. 畜産物と副産物の適正利用、及び、加工、流通の促進による農村生活の改善に資するバリューチェーンの有用性と可能性について説明できる。
4. 効果的かつ実践的な農業生物資源の再活用、及び、生産者と消費者をつなぐ取組みについて説明できる。
5. 農村の生活向上や持続可能な発展のための機能的なバリューチェーン構築/改善に向けた方向性が示される。

対象組織／人材

【対象組織】
畜産業を担う行政機関、研究所、酪農協などの関連団体

【対象人材】
1. 主任クラス、講師クラス以上

2. 畜産業に関する計画を企画・立案または提言できる立場にある者

3. 畜産業の技術開発・政策立案について3年以上の経験を有する者

内　容

【事前活動】
インセプションレポートの作成・提出

【本邦活動】
1. 畜産業の発展に向けた課題の確認・分析（コースオリエンテーション、問題分析ワークショップ）
2. 各生産技術を通じた畜産物の付加価値向上ノウハウの習得（牛の栄養管理・衛生管理、人工授精　他）
3. 地域資源の有効活用のための調整能力の強化（耕畜連携、副産物の飼料としての活用、家畜の糞尿、堆肥の作り方、バイオガス）北海道・十勝の取り組み（農協、牧場、農場、乳製品メーカー、肉製品加工工場　他）
4. 畜産物のバリューチェーンの事例研究
5. バリューチェーンの整備を通じた農村振興計画の策定（レポート作成）

【事後活動】
レポートの共有を通じた日本での成果の報告、畜産業の振興計画についての議論と実践

本邦研修期間	2019/6～2019/8
担当課題部	農村開発部
所管国内機関	JICA北海道（帯広）
関係省庁	
実施年度	2019～2021

主要協力機関	調整中
特記事項及びホームページ	http://www.obihiro.ac.jp/